

・ 次の \_\_\_\_\_ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の \_\_\_\_\_ という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の \_\_\_\_\_ 、  
乗法の \_\_\_\_\_ が成り立つ。  
$$\bigcirc \times \triangle = \triangle \times \bigcirc$$
$$(\bigcirc \times \triangle) \times \square = \triangle \times (\bigcirc \times \square)$$

③ 同じ数をいくつかけるとき、 $2^3$  のように表すことがある。  
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを \_\_\_\_\_ という。

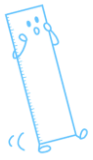
④ 自然数全体の集まりのことを自然数の \_\_\_\_\_ という。

⑤ 整数の集合は自然数と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を \_\_\_\_\_ という。

⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを \_\_\_\_\_ するという。

逆数    結合法則    交換法則    集合    素数    指数  
0    素因数分解    負の整数



・ 次の \_\_\_\_\_ にあてはまる言葉を下の □ から選んで書きなさい。

① 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則、  
乗法の 結合法則 が成り立つ。  
$$\begin{aligned} & \text{交換法則: } \bigcirc \times \triangle = \triangle \times \bigcirc \\ & \text{結合法則: } (\bigcirc \times \triangle) \times \square = \triangle \times (\bigcirc \times \square) \end{aligned}$$

③ 同じ数をいくつかかけるとき、 $2^3$  のように表すことがある。  
かけた数の個数を表した右上にある小さい数のことを 指数 という。

④ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。

⑤ 整数の集合は自然数と 0 と 負の整数 をあわせたものである。

⑥ 1とその数のほかに約数がない自然数を 素数 という。

⑦ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。

逆数    結合法則    交換法則    集合    素数    指数  
0    素因数分解    負の整数